

## 状況は明らかに好転している

第一貨物社長

武藤 幸規



昨年は燃料価格の高騰やドライバーの雇用確保難など厳しい年だった反面、新政権の諸政策によりデフレ解消に向け動き出し、近年とは異なり、人手不足にあつての物量増という局面となった。おそら

く3月まではその傾向をたどるだろう。雇用確保難や外注費の増加、労働時間の延長などの課題は残っているものの、状況は明らかに好転しており、業績は社員の皆さんの努力が実を結びつつある。今後も多く課題や困難はあるだろうが、怯まず、臆せず、逃げずに取り組み、いずれそのことが勝利に結びつくことを信じ力を尽くそう。